

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1956
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.49, No.11 (1956. 11) ,p.835(71)- 836(72)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	経済学関係文献目録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19561101-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

國家の經濟的・政治的要請とともに、生産財と消費財についての生産政策とも關聯づけて究明すべき重要な問題である。さらにまた收益がいかに利用されるかを明らかにすることは、生産性向上による利益のすべてがたとえ直接に賃銀上昇にあてられなくとも、結局は労働大衆の利益になるといふ社會主義のしくみを納得させるためにも必要である。もつともこれを補うものとして五五年『労働生産性、賃銀の發展及び収益性』がかかれたのであるから、この點についてはその紹介の際にゆずらう。

いまひとつの理論的不充分さは價值法則についてもみられる。著者は價值法則が限定されながらも「存在し、作用している」點にかんしては、スターリンの命題を引用するだけで、理論的分析をふかめていないばかりか、同國において商品生産がどの程度で、またどのような形態で残っているのかという肝心の點を全く示していないために、その實際的内容が明らかになつていない。これは著者の主眼が價值法則の意識的利用を規準制、計畫價格、企業の經濟計算制の面において説くことにあつたためである。しかし計畫原理、とくに價格政策の遂行は、國家が生産を支配している程度や形態によつて大いに影響されるであらう。従つて、商品生産が残っている領域、とくに消費財生産において、需給關係の變化や、産業部門間の生産性や収益性の相違等を通じて價值法則の作用がいかに現われるかという點を解明することは、賃銀政策・價格政策等によつて總生産を調和的に調整、發展させていく場合の基礎として、きわめて重要な意味をもつものといわねばならない。

値というカテゴリーがそのまま用いられているが、ここには究明すべきより根本的な問題があると思われる。たとえば原價——従つて價值の一部をなす共通費には、工場設備・保管費・修繕費・運輸費等のほかに、經營・監督者の勞賃、實験・試作・調査費、經營上の事務費、直接生産に關係しない諸施設費等、生産に附屬して必要とされる殆んどすべての費用がふくまれている。(資本主義では、前者は價值形成に参加するが、經營・監督勞働は生産の調整という限りで生産的勞働であり、その大部分は搾取のための勞働という意味で生産的でない、價值を形成しない。また簿記費やそのための勞働は必要であるとはいへ、價值形成に参加せず、不拂勞働に剩餘價值からの擦除部分をなす。)従つて社會主義に残存する商品生産では、これらが性格の變化によつて價值をうむ生産的勞働となつたのかという點に一つの問題があるし、他方商品生産という本質を失つた社會主義的生産では、價值や生産的勞働というカテゴリーを單に生産に必要な勞働の計算・計畫のための手段として用いるにすぎないとすれば、そこではいかなる觀點から生産に必要な勞働を規定し、生産物の原價・價值にふくませるのかという點を、社會主義的生産の特質にそくして理論的に解明する必要がある。これは國民總生産物あるいは國民所得の評價において、生産的・不生産的部門を區分する場合にも、極めて重要なことと思われる。事實この點の理論的不充分さは、社會的總生産を取扱つた五五年の前掲書では一層はつきりした形で現れてきている。こうしてみると、東獨の權威者といわれる著者にあつても、價值計算、價值法則の利用等についての重要な理論的問題がなお残されているといわねばならない。(井村喜代子)

經濟學關係文献目錄

(昭和三十一年八月刊)

理論・學說史・經濟思想

- * 經濟學概論 松下武二著 A5 二二八頁 三〇〇圓(關書院)
- * 經濟計畫の理論 C・ペトウレム著 奥澤篤次郎譯 A5 三五九頁 五五〇圓(東洋經濟新報社)
- * 孤立國 I V・チュウネン著 近藤康男譯 B6 一六〇頁 二一〇圓(日本評論新社)
- * 孤立國 II V・チュウネン著 近藤康男譯 B6 一八六頁 二二〇圓(日本評論新社)
- * 體制と組織の社會主義 社會主義講座 4 大河内一男・向坂逸郎・高島善哉・都留重人・名和統一編 A5 三一六頁 二八〇圓(河出書房)
- * 社會主義の經濟構造 現代社會主義講座 4 野々村一雄編 A5 三二六頁 二八〇圓(東洋經濟新報社)

統計

- * 現代統計學 下 A5 二三四頁 三五〇圓(廣川書店)
- * 統計學 L・H・O・テイベット著 三瀨信邦・野村良樹譯 B6 二六二頁 二八〇圓(東京大學出版會)

歴史

- * 大日本古記録 東京大學史料編纂所編 A5 三七二頁 九〇〇圓(岩波書店)
- * 中世ヨーロッパ經濟史 A・ピレンヌ著 増田四郎・小松芳喬・高橋幸八郎・高村象平・松田智雄・五島茂譯 A5 三一六頁 五〇〇圓(一條書店)
- * 英國産業革命史の一断面——ラダイツの研究——穂積文雄著 A5 二九六頁 四八〇圓(有斐閣)
- * 日本奴隸經濟史 瀧川政次郎著 A5 五六二頁 八〇〇圓(洋々社)
- * 財政・金融・保險・證券 財政の國民經濟理論 大淵利男著 A5 三五八頁 四八〇圓(有信堂)

商工業・經營・會計

- * ソウエト財政學教科書 下 M・A・グールヴィッチ著 各國財政事情研究會譯 B40 二四八頁 一三〇圓(洋々社)
- * 經濟學の新展開 日本經營學會編 A5 三六〇頁 六〇〇圓(同文館)
- * 現代經營會計講座 4 管理會計篇 木村和三郎・古林喜樂・佐々木吉郎・中村常次郎監修 A5 四〇三頁 四二〇圓(東洋經濟新報社)
- * 經營分析の研究 經營經理選書2 田原敏弘著 A5 一三五頁 二〇〇圓(酒井書店)
- * 財務分析演習 國弘員人著 A5 二二七頁 二八〇圓(稅務經理協會)
- * 企業の整理再建 八幡昇著 A5 二二九頁 三二〇圓(新紀元社)
- * 國民所得と國民所得會計 川口弘著 A5 一八九頁 二五〇圓(酒井書店)
- * 農業・林業・水産業 新しい農民運動 農民運動研究會編 B6 一九八頁 二一〇圓(三一書房)
- * 歐米における日本農業の研究 I 東井金

平著 A5 四四七頁 八九〇圓(法政大學出版局)

○圓(東京大學出版會)

社會學

*プロシアの農民土地相續制度 L・フレンターノ著 我妻榮・四宮和夫譯 A5 二二五頁 四〇〇圓(有斐閣)

世界經濟・貿易・海外事情

*家族制度 上 歴史 日本法社會學會編 A5 二六四頁 四〇〇圓(有斐閣)

*農業小六法 B7 七二六頁 二九〇圓(學陽書房)

*ソヴェトの政治 I F・L・シュエーマン著 坂本義和・勝田吉太郎・渡邊一譯 B6 四四二頁 三三〇圓(岩波書店)

*ブラグマテイズムと社會學 デュルケム・キエヴイリエ編 福鎌忠恕・福鎌達夫譯 B6 二九六頁 三三〇圓(關書院)

*くづれゆく農地制度 木村靖二著 B6 二五三頁 二八〇圓(高陽書院)

*國際關係動態論 井口一郎著 A5 二八三頁 四五〇圓(厚生閣)

*世論の構造 S・ボガードス著 山本文雄譯 B40 三〇八頁 二〇〇圓(洋々社)

*精農の經營と技術 3 近藤正著 B6 二二五頁(富民社)

社會思想

年鑑・辭典

*農事研究と青年運動 堀越久甫編 B6 一九六頁 一四〇圓(農山漁村文化協會)

*日本の唯物論者 三枝博音著 B6 三八三頁 四二〇圓(英寶社)

*日本歴史大辭典 2 いっしえと B5 三六四頁 一二〇〇圓(河出書房)

*日本の農業 我妻策著 B40 二〇九頁 一一〇圓(三省堂)

*哲學の貧困・ドイッチェ・イデオロギーマルクス・エンゲルス選集 3 K・マルクス著 高橋義孝譯 B6 二二九頁 二四〇圓(新潮社)

勞働・社會政策

*勞働組合運動の再出發 大河内一男著・B6 一九二頁 二二〇圓(日本評論新社)

*レーニン全集 17 B・H・レーニン著 マルクス・レーニン主義研究所譯 B6 六六六頁 七五〇圓(大月書店)

*勞働白書 勞働省勞働統計調査部編 A5 二〇八頁 三八〇圓(勞働法令協會)

*毛澤東選集 7 毛澤東選集刊行會編譯 B40 二五八頁 一四〇圓(三一書房)

經濟事情

*イギリス社會思想史概説 堀經夫著 A5 一九一頁 二八〇圓(關書院)

*日本資本主義の成立 II 梶西光速・加藤俊彦・大島清・大内力著 三〇四頁 一五